

第147回スポーツサイエンス研究会

日時 2015年5月20日(水) 17:00より

場所 早稲田大学 所沢キャンパス 100号館 210教室

演題

心と身体を繋ぐ神経基盤

西村 幸男 先生

(生理学研究所・認知行動発達機構研究部門)

スポーツ選手は類い希な身体機能だけでなく、同様に不屈の闘志を兼ね備えているが、その闘志と運動パフォーマンスを説明する脳内メカニズムについては未だ不明なところが多い。また、脳損傷後には運動麻痺と同時にうつ症状を併発し、そのうつ症状を軽減し、意欲をあげることで運動機能回復を促進しうるということが経験的に知られている。我々は、このような心の奥底から沸き立つ闘志・意欲とそれにより制御される身体運動制御の神経基盤・心と身体運動制御機構の因果関係を解明することを目指している。それを達成するために、中脳辺縁系を生体全体・精神状態の維持・制御可能な起源であると仮説を立て、中脳辺縁系の神経活動の操作とそれに支配されている大脳皮質活動、行動を一度に観察することで、それぞれの機能的連関・因果関係を神経生理的・計算論的に検討した、我々の最新の研究結果を紹介する。

